



 博多まちづくり推進協議会

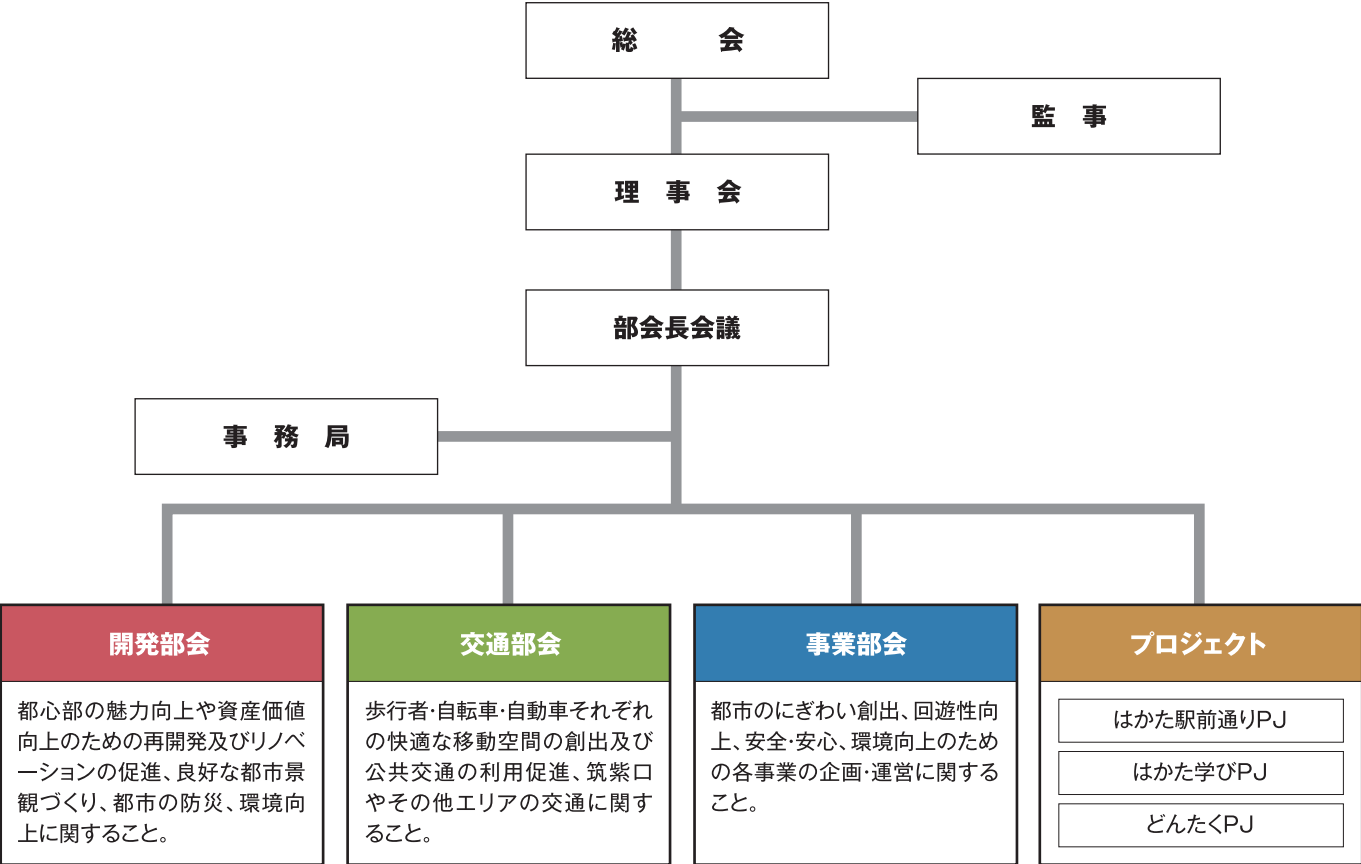
平成26年度 事業報告書

平成26年度の活動

平成26年度は、「博多まちづくりガイドライン2014」に描く博多の新しい将来像実現に向け、これまでの活動にさらに磨きをかけるとともに、新たに策定した「アクションプラン(2014-2016)」に基づく新しい活動にも着手しました。

まちのにぎわいを点から面に広げ、エリア内・エリア間の回遊性を向上させる活動を継続・強化するほか、歩行者空間や交通に関する課題にも着目し、これまで以上に「歩いて楽しいまち」の実現に向けた取り組みを進めました。また、まちづくりの基本である美化活動、日本各地でその必要性が高まりつつあるエリア防災や災害への備えに関する活動、環境向上に関する活動など、「美しく安心なまち」に欠かせないまちの基礎づくりも重視し、九州・アジアに誇れる魅力あるまちを目指して活動を行いました。

●組織体制



●活動エリア



博多駅を中心に東西約1.5km、南北約1kmのエリア

「博多まちづくりガイドライン2014」と協議会の活動

博多のまちでは、まちづくりの方向性や方針をまとめた「博多まちづくりガイドライン2014」をもとに、様々な関係者が将来像を共有しながら、その実現に向け、まちの魅力や価値を高めていく活動が進められています。

博多まちづくり推進協議会では、「博多まちづくりガイドライン2014」に描くまちの将来像を実現するため、概ね3年間で協議会が主体となって重点的に取り組む活動と、その活動を通じて達成したい目標を定めた「アクションプラン」を策定し、まちづくりを推進しています。



●「博多まちづくりガイドライン2014」アクションプラン編(2014-2016)

博多のまちは、博多駅中央街南西街区の開発が2016年（平成28年）春と目前に迫り、さらに2020年度（平成32年度）には地下鉄七隈線延伸が予定されるなど、大きな変化が待ち受けています。特に、地下鉄七隈線延伸は、福岡市南西部と博多駅地区との移動時間を大幅に縮めるとともに、渡辺通地区や天神地区との回遊性のさらなる向上に寄与します。また、九州全体や本州方面へのアクセスの拠点である博多駅地区の吸引力が高まり、博多のまちの存在感が一層高まることが予想されます。

そこで、2014～2016年度（平成26～28年度）の3年間で、**博多の新たなステージに向けて“磨く（みがく）”期間**と位置づけます。

基本方針	アクション
歩いて楽しいまちづくり	I 地下鉄七隈線延伸に向けて、歩いて楽しいまちとしての魅力の更なる向上
	II 博多駅周辺の更なる回遊性向上と新たなにぎわい創出
	III 歩行者中心で、公共交通・自転車・自動車とのバランスの取れた、理想的な交通体系の共有
	IV 平日や休日、時間を問わず、ライフスタイルに応じて楽しめるまちづくり
美しく安心なまちづくり	V まちの防災機能の強化
	VI 美しく、環境に配慮したまちづくり
	VII 全ての人のために、安全・安心なまちづくり

歩いて楽しいまちづくり

アクション

- I 地下鉄七隈線延伸に向けて、歩いて楽しいまちとしての魅力の更なる向上
- II 博多駅周辺の更なる回遊性向上と新たなにぎわい創出
- III 歩行者中心で、公共交通・自転車・自動車とのバランスの取れた、理想的な交通体系の共有
- IV 平日や休日、時間を問わず、ライフスタイルに応じて楽しめるまちづくり

はかた駅前“どんたく”ストリート(特別協賛事業) 5/3(土・祝)、5/4(日・祝)

博多駅地区のにぎわい創出と、天神地区への回遊性向上及び福岡都心部全体の活性化を目的に、博多どんたく港まつりの主要行事として「はかた駅前通り」の約150mをステージとする「はかた駅前“どんたく”ストリート」を開催。「パレード型」だけでなく「ステージ型演技」も可能であることが好評を博し、31団体(うち6団体が初出場)・約2千名が参加した。

また、今年は初めてどんたく開催中の「はかた駅前通り」の歩行者交通量を計測し、多くの来街者によりにぎわいが創出されていることが改めてわかった。(5/3 10:00~11:30 5,853名、5/4 10:00~13:00 13,589名)

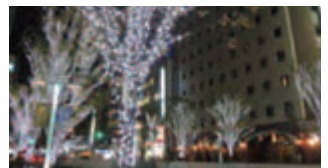
【主な参加団体】精華女子高等学校吹奏楽部、LinQ など



冬のファンタジー・はかた'15(特別協賛事業) 11/14(金)~2/24(火)

博多駅周辺地区の回遊性向上を目的に、はかた駅前通り、大博通り、住吉通り、筑紫口中央通りの街路樹や地下街出入口建屋など、約40万球のLEDを使用したイルミネーションを実施。

イベントに合わせてフォトコンテストを開催したほか、広報活動として、まちの見どころや飲食店を紹介する新聞折込タブロイドを15万部、WeLove天神協議会と連携した福岡都心部のイルミネーション紹介パンフレットを5万8千部発行した。



はかたんウォーク

博多朝カフェ 9/1(月)~9/5(金)

博多駅周辺の朝のにぎわいづくりを目的に、パンとコーヒーをセットにした「博多朝カフェセット」を1日200セット販売。通勤中のビジネスパーソンや近隣住民の方でにぎわった。また、おすすめ店舗を紹介した「博多朝食ガイド」を5千部発行し、期間後もまちにあるカフェの利用を促進した。



博多朝カフェ



博多朝食ガイド

博多秋博スタンプラリー2014 10/1(水)~11/30(日)

博多エリア17箇所にスタンプを設置し、集めた方に賞品を提供。賞品の缶バッジは博多弁をテーマにしたデザインとした。参加者4,199名



博多まち歩きマップ2015 10/1(水)~

博多のまちの4つのエリアをクローズアップし、それぞれに おすすめのまち歩きコースを示したマップを15万部発行。これまで2回発行していたものを通年版にするとともに、まち歩きコースにウォーターフロントエリアを新たに追加した。

また、外国人観光客の増加に対応するため、英語版を併せて制作し、WEB上に公開した。



灯りの道しるべ 10/18(土)

地域が行う「博多灯明ウォッチング2014」と連携して、博多駅~博多バスターミナル2Fペデストリアンデッキ~承天寺通り~博多千年門に800個の灯明を並べ、訪れた方を博多駅から寺町エリアに誘導。開催時の承天寺通り歩行者の通行量は、通常時の約7倍に増加した。



まちのにぎわいを広げる活動

●博多まちづくりラボ「ハカタリノベーションカフェ」 2/7(土)~2/11(水・祝)

リノベーションによるまちづくりの可能性を知ってもらうため、空き店舗をカフェに改修。店内の机や椅子は、一般公募で集まった参加者によるDIYで作成。食や雑貨、古本などの販売や様々なイベントを実施し、リノベーションによる空室の使い方を発信した。リノベーションに興味のある方がヒヤリングに訪れるなどの効果も見られ、来場者からは、期間限定であることを惜しむ声が多く寄せられた。

また、出店者に博多エリアでの店舗展開を考えていただくきっかけとなったほか、パネル展示や公開会議を通して、一般の方にまちづくり活動を発信することができ、博多におけるまちづくり拠点の可能性を感じられる事業となった。来場者延べ1,000名

<開催イベント>

1月24日 ・はかたDIY 参加者15名

2月 7日 ・オープニングトークセッション 参加者65名

・トークショー「エリアを活性化する空きビル再生の取り組み」 参加者47名

2月 8日 ・空想bookcafe 参加者70名

・アナバ不動産プレゼンテーション 参加者40名

2月10日 ・まちの中にある空資源（空室、空家、空地）の活用方法 参加者40名



ハカタリノベーションカフェ（外観）



オープニングトークセッション



物販スペース

●不動産WEBサイトを通じた、博多エリアの物件紹介

魅力的な店舗の博多への出店を促し、まちのにぎわいを点から面に広げていくため、一般的にはあまり紹介されない個性的な物件を紹介することで知られるWEBサイト「福岡R不動産」に、博多エリアの特徴ある5物件を掲載。リノベーション物件や眺望の優れた物件など、博多エリアにある物件の隠れた魅力を掘り起こして情報を発信し、実際の出店を促した。（紹介エリア:博多駅前、住吉、冷泉、博多駅南）

●明治公園リニューアルオープン 3/1(日)

平成22年度に地域の皆さまとワークショップを行い将来像を描いた明治公園が、3月1日にリニューアル工事を終えてオープン。当日はオープニングセレモニーや飲食・物販テントの設置を企画していたが、雨天により中止となった。

また、公園内に設置された地下鉄七隈線工事用防音壁を利用し、絵本作家「ザ・キャビンカンパニー」に作画依頼した巨大アート（3m×19m）を掲出することで、親子連れや来街者の目を楽しませ、都心の憩いの場となる雰囲気醸成した。



巨大アート



これまでの活動経緯

平成22年度、「地域に愛され、まちの誇り」となる公園とはどういうものなのか、東住吉まちづくり協議会とともに4回にわたるワークショップを開催し、理想とする将来像を描いた。



平成23年5月11日、地域の代表とともに福岡市長のもとを訪ね、地域が望む将来像を実現するための要望書を提出した。



●はかた大学

学びを通じて博多のまちに新たなコミュニティが生まれることを目指して開校。講座の内容は食、ビジネス、歴史、グローバルなど多岐にわたり、時間帯や平日休日を問わず学びの場を広げた。特にビジネスパーソンを対象とした朝や夜の時間の講座や、博多の歴史ある寺社を会場とした講座が好評を博した。学生登録者数384名(平成27年3月31日現在)

開校記念イベント「博多を学ばナイトⅡ」 8/20(水)、8/28(木)・平日夜

講師:佐々木 喜美代 氏(アジア・エイジング・ビジネスセンター上席研究員)

岡野 博一 氏(㈱岡野 代表取締役社長)

博多の歴史や文化の継承、発展に情熱を注ぐ人取材する講座を実施。参加者が選んだ博多の伝統工芸「博多織」について、(㈱岡野の岡野社長を取材。講座のコーディネーターである佐々木喜美代氏との対談形式で、博多織の歴史と今、今後の展望などについて学んだ。参加者32名



【食に関する講座】

ビジネスパーソンと主婦を対象にした2講座を実施。どちらもグループ実習を取り入れた講座であり、飲食しながら会話を楽しむ参加者の姿が見られた。

・大人のこだわり珈琲学～博多でピターな夜を過ごす～ 11/6(木)・平日夜

講師:長尾 仁 氏(UCC上島珈琲(株)コーヒーアドバイザー) 参加者30名

・博多めんたい学～ひな祭りレシピづくり～ 2/26(木)・平日昼

講師:吉田 紀子 氏(㈱ふくや)・恵方 マキ 氏(飾り巻き寿司1級インストラクター) 参加者22名



大人のこだわり珈琲学

【ビジネスに関する講座】

博多で働く人の充実したビジネスライフを応援する2講座を実施。学ぶ機会が少ないマナーや健康管理をテーマに、多くのビジネスパーソンが集まった。

・デキる大人は知っている。マナーの本質! 8/22(金)・平日夜

講師:徳久 晶子 氏(麻生専門学校グループ講師・元日本秘書クラブ九州支部副支部長) 参加者28名

・デキる大人の体調管理 10/3(金)・平日夜

講師:相川 貴宏 氏(㈱ジョグステーション) 参加者25名



デキる大人の体調管理

【歴史に関する講座】

博多エリアの魅力である寺社を会場に、博多の歴史に触れていただくための2講座を実施。女性参加者が多いのが特徴的だった。

・神社でヨカ・ヨガ～朝ヨガin住吉神社能楽殿～ 9/16(火)・平日朝

講師:山野 華奈 氏(㈱Lienインストラクター) 参加者28名

・お寺でチャ・チャ・茶～円覚寺で茶道南方流を学ぼう～ 11/8(土)・休日昼

講師:龍淵 秀海 氏(円覚寺老師) 参加者26名



神社でヨカ・ヨガ

【グローバルに関する講座】

紛争や貧困などの世界的な問題を学ぶとともに、問題の解決方法の1つとして注目されている「エシカル」や「フェアトレード」について考える講座を実施。

・シネマで学ぶフェアトレード&エシカル 1/14(水)・平日夜

講師:関根 健次 氏(ユナイテッドピープル(株)代表取締役社長) 参加者14名



はかた大学交流会

【その他】

・福岡検定初級対策(博多の文化芸能編) 12/17(水)・平日夜

講師:山田 広明 氏(「博多町家」ふるさと館学芸員) 参加者11名

福岡検定の受験希望者を対象に、参考書の著者を講師に招いて博多の歴史を学んだ。

・はかた大学交流会～博多でマナブ・博多でツナガル～ 3/6(金)・平日夜

講師:中島 浩二 氏(タレント) 参加者31名

「はかた大学」学生登録者同士のコミュニティづくりを促すための交流会を開催した。

・博多阪急コラボイベント～ファッションコーディネート体験講座～ 3/22(日)・休日夜

講師:田中 菜保子 氏(カラーコーディネーター1級士) 参加者15名

博多阪急婦人服売場を会場に開催。初めての企業コラボレーション講座となった。

歩きたくなるまちをつくる活動

●はかた駅前通り再整備検討会議

全4回の会議を通して、地域の方や交通事業者などと一緒に「はかた駅前通り」の再整備のあり方について検討し、10月31日に「官民一体となった『はかた駅前通り』の再生による魅力あるまちなみ形成に関する提案書」を福岡市長へ提出した。

会議開催実績

座長：九州大学新キャンパス計画推進室副室長 坂井 猛 教授

第1回 4月22日（火）参加者31名

第2回 5月27日（火）参加者28名

第3回 7月31日（木）参加者31名

第4回 8月27日（水）参加者29名

提案書では、会議でまとめた通りの目指すべき将来像を実現するため、地域や民間事業者が主体となったソフトの取り組みと道路空間整備について提案した。



市長への提案の様子

目指すべき将来像（基本コンセプト・まちづくりの方向性）

- ・ゆとりある歩行者空間で、誰もが安心して快適に歩けるまち
- ・歩いて楽しい通り、博多のまちにふさわしいメインストリート
- ・沿道建物と通りが一体となったにぎわい・魅力あふれる通り
- ・博多駅周辺とキャナルシティ博多を結ぶ一大にぎわいモール



地域や民間事業者で取り組む内容

- ・地域のまつりやオープンカフェによるにぎわい・憩いの空間づくり
- ・自転車の通行や駐輪に関するマナーアップ啓発活動
- ・通りにうるおいを与える花やみどりの維持管理
- ・建物低層部へのにぎわい施設の積極的な誘致

道路空間整備の提案

- ・自転車レーンの設置
- ・「バスカット」方式によるバス停の整備
- ・路上パーキングメーターの撤廃
- ・植栽帯の撤去（街路樹の植替え）による歩行者空間の充実

●はかた駅前通り景観社会実験「スマイルプロジェクト」 11/13(木)～12/3(水)

「はかた駅前通り」を歩いて楽しい通りにすることを目的に、期間限定でアートオブジェやベンチ、テーブルを設置し、通りにおける景観やユニバーサルデザインの検討、歩道上のにぎわい空間実現に向けた実験を行った。この事業は、「福岡市グローバル創業・雇用創出特区」認定後、初の国家戦略特区道路占用事業に指定されている。

オブジェについては、事前にワークショップを開催し、アーティストのオーギカエさんと参加した子供たちが描いた“現代のハニワ”をモチーフにした。ベンチの設置についてはユニバーサルデザイン推進の観点から、高い評価をいただいた。



ベンチとテーブル



設置されたオブジェ



ワークショップの様子

●筑紫口駅前広場再整備意見交換会

博多駅筑紫口駅前広場のレイアウト再編や再整備の方向性の整理について議論する意見交換会に出席。地域住民や交通事業者など、様々な視点から活発に意見が交わされ、再整備の機運が高まった。



現在の筑紫口駅前広場

●交通ワークショップ

公共交通利用促進、自転車・自動車の利用環境改善をテーマに、3回にわたって講演及びワークショップを開催。博多エリアでの課題を洗い出し、その解決の糸口となる活動について議論した。参加者からは、バスの乗り場・路線のわかりにくさや自転車利用マナーの悪さ、通過交通が招く渋滞などが問題提起され、これらを解決する具体的な活動を検討・実施した。

6月10日 まちの魅力を高める公共交通機関のあり方は？ 参加者25名

路線の分かりにくさなど、参加者のバス交通に対する問題意識が高いことがわかった。

提案された活動：バス停コンシェルジュの配置、買い物荷物の宅配サービスなど



ワークショップの様子

7月 9日 自転車が歩行者と共存するためにどうする？ 参加者19名

自転車は便利な乗り物だが、設備や利用マナーなど、解決すべき問題が多くあることがわかった。

提案された活動：違法駐輪自転車への注意札付け、駐輪場マップの制作・配布など

8月12日 自動車利用、どこまで我慢してもらう？ 参加者16名

自動車利用は容認するものの、博多エリアを目的地としない通過交通の対応は必要であるという結論に至った。

提案された活動：企業と連携した自動車利用の抑制など

●交通量調査 10/16(木)、10/18(土)

博多駅周辺の「大博通り」「はかた駅前通り」「住吉通り」「筑紫口中央通り」にて歩行者、自転車の交通量調査、「博多警察署入口交差点」および「博多駅前交差点」で自動車の交通量調査を実施。なお、今年度は過去（平成23年度以降）の調査結果の経年分析を行った。

平成23年～26年の経年分析による主な特徴

歩行者通行量は、各通りいずれも平日・休日ともに横ばいまたは増加傾向。特に「はかた駅前通り」は、4年間で約1割増加しており、JR博多シティおよびキャナルシティイーストビル開業の効果などによるものと想定される。自転車通行量は平日・休日ともに横ばいで推移。自動車通行量は平日・休日ともに4年間で1割前後減少している。

●放置自転車への注意札付け活動

違法駐輪を防ぐことを目的に、月1回のクリーンデイに合わせて、放置自転車への注意札の取り付け活動を行った。

また、博多駅周辺の駐輪場MAPを作成し、駐輪場への駐輪を促した。



駐輪場MAP



注意札取り付けの様子

●バス停コンシェルジュ 3月23日(月)～

3/23～4/23の1ヶ月間、博多駅前バス停に案内係を配置。行き先に応じた乗り場のご案内や、複雑な路線に対する問い合わせが目立ったほか、外国人観光客（特に韓国や中国）からの問い合わせも多く、外国語表記を備えた乗り場や路線に関する分かりやすい案内表記が必要であることが分かった。



美しく安心なまちづくり

アクション

- V まちの防災機能の強化
- VI 美しく、環境に配慮したまちづくり
- VII 全ての人にとって、安全・安心なまちづくり

安全・安心環境向上活動

●防災セミナー「みんなで考える地域防災」 1/23(金)

地震をテーマにした、講演会とワークショップを開催。講演では、新宿駅周辺で実践する帰宅困難者対策や負傷者の救急対応などを学び、ワークショップでは住民、企業それぞれの立場で実際の地震を想定した対策について意見交換し、今からできる「地域防災」について考えた。講演会参加者60名、ワークショップ参加者33名

・基調講演「新宿駅周辺地域におけるエリア防災の取り組み」

講師:工学院大学建築学部まちづくり学科 准教授 村上 正浩 氏

・事例紹介「福岡市の防災に関する取り組みについて」

講師:福岡市市民局防災危機管理部 防災普及啓発指導員 奥園 孝二 氏

・ワークショップ「安心・安全の観点から博多駅周辺地域を見直してみよう」

ファシリテーター:九州産業大学工学部建築学科 教授 日高 圭一郎 氏



●エコビル・エコまちづくり視察 10/30(木)~10/31(金)

環境やエネルギーに配慮した建築やまちづくりの先進事例周知を目的に、関東地区の4箇所を視察。建物・エリア・まち全体と、規模によって異なる環境負荷低減の工夫を学んだ。今後学んだ内容を博多の事業者等に周知し、環境にやさしいまちづくりを推進していく。参加者21名



東京イースト21

<視察先と対応していただいた企業(敬称略)>

- ・飯田橋西口再開発事業(東京・飯田橋) 前田建設工業(株)
- ・竹中工務店東京本店ビル(東京・東陽町) ㈱竹中工務店
- ・東京イースト21(東京・東陽町) 鹿島建設(株)
- ・柏の葉スマートシティ(千葉・柏の葉) 三井不動産(株)・UDCK

●スポーツGOMI拾いinはかた 6/29(日)

「スポーツGOMI拾いinはかた実行委員会」との共催で、集めたゴミの種類や量を競う清掃活動に初めて挑戦。企業・自治協議会・学生などが参加し、226キロのゴミを収集した。参加者51チーム232名



●クリーンデイ、スペシャルクリーンデイ

毎月第3木曜日の朝を利用してまちの清掃活動に取り組んだ。11月と3月には「おっしょい博多クリーンアップ作戦」と連携してスペシャルクリーンデイを実施。まちの落書き消しも合わせて行った。年間参加者数2,958名



●博多ひ～んやり!打ち水 7/29(火)

夏のヒートアイランド対策を目的に実施。博多駅周辺18箇所の一斉打ち水に加え、今年初めてWeLove天神協議会や福岡市と連携した打ち水リレーを行った。福岡黒田武将隊などのゲストを迎え、にぎわいを創出した。参加者1,012名



博多口駅前広場の様子



天神地区との連携

●防犯ブザーデコレーション 7/29(火)

福岡県警察本部及び博多警察署の協力で、女性や子どもに防犯ブザーの常時携帯を促すためのイベントを実施。デコレーションの講師と一緒に防犯ブザーの飾り付けを行った。参加者45名



●第8回防犯講習会 2/6(金)

博多警察署を講師に迎え、平成26年の博多駅周辺で起きた事件・事故について話を聞いた後、被害の広がりを防ぐ「正しい110番」の方法などを学んだ。参加者42名



●はかた駅前通り植栽管理事業

はかた駅前通りの約600mにわたり、沿道の植栽帯の一部を管理し、来街者や地域住民の目を楽しませた。



協議会活動の充実、他組織との連携

●天神博多まち歩きマップのリニューアル

天神～博多間の回遊性向上を目的に、WeLove天神協議会と連携して制作したマップをリニューアルし、9万部発行。両エリアをめぐる「入門コース」と「黒田官兵衛コース」を掲載した。市内の主要駅やホテルなどで配布したほか、県外の旅行代理店などからも注文が相次いだ。



●九州大学工学部建築学科による課題成果発表会 1月29日(木)

九州大学工学部建築学科3年生の学生が、博多駅周辺における「まちの回遊性とにぎわいに寄与する複合施設のデザイン」をテーマに課題研究を行い、その成果を協議会会員の前で発表した。



●地域イベントとの連携

地域で開催されているイベントへの協力や協賛を行った。

- 4月11日 「福岡・都市シーニックバイウェイ」シンポジウム
- 5月 9日～ 博多千年門落成記念公演
「博多の恩人 聖一国師物語Ⅱ」
- 9月 8日 住吉神社観月会
- 10月10日～ 2014博多情緒めぐり
- 10月18日 博多灯明ウォッチング2014
- 11月 3日～ 第8回バルウォーク福岡
- 11月 8日 クリエイティブコミュニティ
- 11月15日～ ふくこいアジア祭り2014
- 11月20日～ 博多ライトアップウォーク2014
- 1月23日 東長寺節分大祭表敬訪問
- 2月 3日 節分祭(東長寺・住吉神社)
- 2月15日 第2回福岡検定
- 3月14日～ ファッションウィーク福岡2015
- 通年 福岡県警察音楽隊 安全・安心コンサート

●他都市との情報交換

- 8月21日 広島市
- 10月 3日 (株)竹中工務店
- 12月 9日 仙台市中心商店街活性化戦略研究会
- 1月22日 京都戦略会議
- 2月20日 まちづくりサロン



広島市視察受け入れ

●他組織への参画(委員就任、会議出席など)

- ・筑紫口駅前広場再整備意見交換会
- ・博多区自転車等駐輪対策推進協議会
- ・博多千年門振興会
- ・博多の魅力発信会議
- ・博多ライトアップウォーク実行委員会
- ・福岡おもてなし委員会
- ・福岡検定実行委員会
- ・福岡市総合交通戦略協議会
- ・福岡市バリアフリー推進協議会
- ・福岡都心地域都市再生緊急整備協議会
- ・福岡モビリティ・マネジメント推進連絡会
- ・福博花しるべ実行委員会
- ・ユニバーサル都市・福岡推進協議会

情報発信・自主財源の確保

●情報発信

ホームページリニューアル

情報発信強化のため、協議会ホームページの大幅リニューアルを行った。協議会の活動報告はもちろん、会員企業が各自で行うまちづくり情報を発信し、エリアの魅力を広く伝えるページとした。



会報誌「はかたんだより」

No.17~20を発行。部会メンバーや会員企業の紹介を行い、会員による活動の様子が伝わりやすい紙面とした。



●自主財源事業

エリアマネジメント広告事業

はかた駅前通り・大博通り・住吉通りの街路灯バナナを広告枠として販売し、その収入を協議会の活動費の一部にあてている。



まちづくり支援自動販売機事業

売上金の一部を博多まちづくり推進協議会の活動費として寄付していただく自動販売機の設置企業を募集。



その他活動実績

●博多まちづくりシンポジウム 4/18(金)

平成26年1月の「博多まちづくりガイドライン2014」策定を記念し、福岡地域戦略推進協議会(都市再生部会博多周辺分科会)と連携したシンポジウムを開催。対談ではガイドライン策定までの経緯や、本冊に描くまちの将来像実現に向けた展望などが語られた。



映像(バーチャルリアリティ)で見る博多のまちの将来像
講演:福岡地域戦略推進協議会

都市再生部会博多周辺分科会 兵藤 公顕 事務局長
対談「新しいガイドラインができました」

- ・九州大学新キャンパス計画推進室副室長 坂井 猛 教授
- ・博多まちづくり推進協議会 原楨 義之 事務局長

●定例会議の実施

- 4月18日 平成26年度通常総会
- 7月11日 平成26年度第1回理事会
(情報提供:まちづくり拠点「柏の葉アーバンデザインセンター」の取り組み)
- 9月26日 平成26年度第2回理事会
(情報提供:官民一体となった「はかた駅前通り」の再生による魅力あるまちなみ形成に関する提案書(案)について)
- 12月15日 平成26年度第3回理事会
(情報提供:「航空法高さ制限のエリア単位での特例承認」について)
- 3月18日 平成26年度第4回理事会
(情報提供:市営博多駅前駐車場用地の有効活用について・地下鉄七隈線延伸事業について)

●表彰及び受賞の記録

- 6月 5日 第7回福岡市環境行動賞 奨励賞
- 10月18日 平成26年度 花と緑に関する市長表彰
- 11月18日 アジア都市景観賞

【正会員】

朝日新聞社、アサヒビール(株)、(株)朝日ビルディング 九州支社、(株)アサヒファシリティズ 九州支店、(学)麻生塾 麻生専門学校グループ、(株)石村萬盛堂、(株)伊藤園、(株)エフ・ジェイ ホテルズ グランド・ハイアット・福岡、(株)大林組 九州支店、鹿島建設(株)九州支店、堅粕校区自治協議会、紙与産業(株)、(株)チャンネルエンターテイメントワークス、九州朝日放送(株)、九州勧業(株)、九州電力(株)、九州旅客鉄道(株)、(株)九電工、麒麟ビールマーケティング(株)九州統括本部、(株)神戸製鋼所 九州支店、西部ガス(株)、(株)サニクリーン九州、サンエフ(株)、七洋物産(株)、清水建設(株)九州支店、JR九州ファーストフーズ(株)、JR九州フードサービス(株)、JR九州ホテルズ(株)、JR九州メンテナンス(株)、JR九州リテール(株)、(株)JR博多シティ、住吉校区自治協議会、筑前國一之宮 住吉神社、損害保険ジャパン日本興亜(株)、(株)竹中工務店 九州支店、(株)TVQ九州放送、(有)デュークスホテル、(株)テレビ西日本、(株)西日本シティ銀行、(株)西日本新聞社、西日本鉄道(株)、西日本電信電話(株)福岡支店、西日本旅客鉄道(株)新幹線管理本部福岡支社、日本アイ・ビー・エム(株)、日本たばこ産業(株)福岡支店、日本郵便(株)、博多駅南西街区まちづくり協議会、博多校区御供所自治協議会、博多校区冷泉自治協議会、(株)博多ステーションビル、(株)博多福住、(株)阪急阪神百貨店 博多阪急、東住吉校区自治協議会、(株)ファビルス、深見興産(株)、(株)福岡銀行、(株)福岡交通センター、福岡地所(株)、福岡商工会議所、(株)福岡リアルティ、(株)ふくや、(株)福山コンサルタント、(株)フジタ 九州支店、(株)ホテル日航福岡、三井不動産(株)九州支店、(株)明月堂

【一般会員】

(株)アヴァンティ、(株)朝日印刷 福岡支店、(株)朝日広告社、朝日生命保険(相)福岡支社、(株)イースタンスポーツ 博多スターレーン、(株)伊予銀行 福岡支店、(株)インテリジェンス 九州支社、(株)ウェルビー 福岡支店、(有)内田エステート、(株)エフ・ジェイ ホテルズ サンライフホテル、(株)エフ・ジェイ ホテルズ ハイアット・リージェンシー福岡、オーエービジネス(株)、オムロンフィールドエンジニアリング九州(株)、(株)鹿児島銀行 福岡支店、上内電気(株)、(株)九州ばど、(株)共立電照、(株)近鉄ホテルシステムズ 博多都ホテル、(株)久米設計 九州支社、(株)グリーンディスプレイ福岡支店、KDDI(株)九州総支社、コクヨマーケティング(株)、五洋建設(株)九州支店、西京ホンダ販売(株)、(株)サニックス、三建設備工業(株)九州支店、(株)サン・ライフ、JR九州エージェンシー(株)、JR九州高速船(株)、JR九州コンサルタンツ(株)、JR九州商事(株)、JR九州セコム(株)、JR九州鉄道営業(株)、JR九州ビルマネジメント(株)、JR九州レンタカー&パーキング(株)、(株)ジェイアールサービスネット福岡、(株)ジョグステーション、住友生命保険(相)福岡総支社、住友不動産(株)、西部電気工業(株)、西部日本エンタープライズ(株)、(株)大東和、(株)ディーシー、(株)東急ハンズ博多店、TOTO(株)九州支社、(学)中村学園 中村学園事業部、(株)西広、日本生命保険(相)福岡総合支社、(株)日本旅行 福岡支店、博多駅商店連合会、博多駅東街づくり連合会、(株)博多グリーンホテル、(株)博報堂プロダクツ 九州支社、(株)早川不動産、日之出水道機器(株)、NPO法人福岡建築ファウンデーション、富士ゼロックス福岡(株)、(株)復建エンジニアリング 福岡支社、古河電気工業(株)九州支社、ホテルセントラーザ博多、(株)ホライズン・ホテルズ博多ホテル事業所 ANAクラウンプラザホテル福岡、前田建設工業(株)九州支店、三井住友海上火災保険(株)、(株)未来図建設、(株)八百治博多ホテル、UCC上島珈琲(株)九州支社、ヨシモトホール(株)九州支店、(株)リクルートジョブズ福岡支社、ルートインジャパン(株)、(株)レオパレス21 ホテルレオパレス博多、ロイヤルパークホテル ザ 福岡

【特別会員】

九州大学、九州大学名誉教授 樗木 武、国土交通省九州運輸局、国土交通省九州地方整備局、東京大学教授 出口 敦、(独)都市再生機構 九州支社、(株)日本政策投資銀行 九州支店、(公財)福岡アジア都市研究所、福岡県、福岡県警察、福岡市